

# 家山通信

UCHIYAMA TSUSHIN

エコ住宅を考える家山倶楽部から。



## 家山倶楽部 INFORMATION

**NEWS** 多くの工務店様に『屋上緑化システム/スカイプロムナード』をご採用いただいております

本誌でご紹介しております建築家による屋上緑化だけでなく、多くの工務店様にも栄住産業の「屋上緑化システム/スカイプロムナード」をご採用いただいております。自社ブランドの「屋上緑化の家」を推進したいとお考えの工務店様は、ぜひお気軽に最寄りの弊社営業所までお問合せください。専門の担当者から最適なご提案をさせていただきます。



**新商品** 太陽光パネルを強力な磁石で屋根に設置するレインボウマグソーラーシステムが好評です

日本各地でレインボウマグソーラーの設置を進めています。特に大型商業施設などでの設置やお問合せが増えています。大震災後における省エネの実践は各企業にとっても大きな課題です。そんな時も、後付け可能なマグソーラーシステムなら合理的な施工が可能ですので、必ずやお力になれるものと確信しています。（※写真の施工例は新潟県の建築事例です。）



家山倶楽部をご一緒につくりましょう

家山倶楽部は「家を山にして気持ちよく暮らしましょう」という栄住産業からのメッセージをゆっくりと伝えていく活動です。あなたのロハスライフにお役立てください。また、こんなエコな情報がある！といった情報提供もお願い致します。

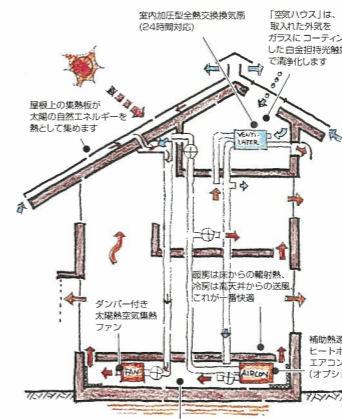
### ● お問い合わせ

株式会社 栄住産業 [www.eijyu.co.jp](http://www.eijyu.co.jp)

- [本社] 〒812-0063 福岡県福岡市東区原田3丁目5-6  
TEL 092-622-6292 FAX 092-611-9697
- [関東支店] 〒182-0024 東京都調布市布田2丁目4-6 アムールビル1F  
TEL 042-442-4785
- [関西支店] 〒579-8063 大阪府東大阪市横小野町5丁目10-33  
TEL 072-985-9600
- [東北営業所] 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区原町7丁目5-6  
TEL 022-388-6830
- [北関東営業所] 〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曾町1311-2  
TEL 028-683-0170
- [埼玉営業所] 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎2丁目675-2  
TEL 048-948-0377
- [千葉営業所] 〒262-0042 千葉県花見川区花島町141-2  
TEL 043-215-1350
- [横浜営業所] 〒241-0826 神奈川県横浜市旭区東希望ヶ丘224-8 I-Kビル102  
TEL 045-744-6101
- [中部営業所] 〒491-0074 愛知県一宮市東島町3丁目29-1  
TEL 0586-28-7775
- [姫路営業所] 〒672-8021 兵庫県姫路市白浜町宇佐崎中1丁目25  
TEL 079-247-2550
- [広島営業所] 〒731-3161 広島県広島市安佐南区沼田大字伴2217-1  
TEL 082-848-4615
- [四国営業所] 〒769-0101 香川県高松市国分寺町新居3582-7  
TEL 087-813-8321
- [北九州営業所] 〒800-0206 福岡県北九州市小倉南区葛原東5丁目2-16  
TEL 093-475-0966
- [長崎営業所] 〒851-2101 長崎県西彼杵郡時津町西時津郷1000-168 (第7工区)  
TEL 095-881-0956
- [熊本営業所] 〒861-3203 熊本県上益城郡御船町高木4760-1  
TEL 096-282-4650
- [大分営業所] 〒870-0156 大分県大分市高城町14-16 高城ルネビル1F  
TEL 097-503-1902
- [鹿児島営業所] 〒892-0871 鹿児島県鹿児島市吉野町4584-1  
TEL 099-295-7060
- [神奈川工場] 〒254-0012 神奈川県平塚市大神2085-4  
TEL 0463-51-4404
- [太陽光発電事業部] 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3丁目1-17 日本橋人形町石井ビル3階  
TEL 03-5614-0398
- [ビュウウッド事業部] 〒819-0015 福岡県福岡市西区愛宕2丁目11-34-407号  
TEL 092-894-2443

**新商品** パッシブソーラーシステム「そらどま」試験使用スタート

建築家・丸谷博男さんが開発されたパッシブソーラーシステム「そらどま」を使った家づくりが進行しています。まだまだ完璧にシステムアップされたシステムではありませんが、施工者の理解を得て実際の住宅に設置しています。24時間換気システムとの併用の仕方に工夫が必要だったり、夏はクールチューブを採用したりとより実用的なアイデアもプラスされつつあります。同システムは、日本のソーラーシステムをリーディングしてきた丸谷さんが考えた最もシンプルなパッシブソーラーシステムであり、設備を必要最小限にとどめることで最も素朴でリーズナブルになっているのが大きな特色です。試験的な使用の進行に合わせ、施工していただく工務店様も募集してまいりますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。



そらどま SOLAR DOMA 「そらどまの家」システム概念図

● お問い合わせ先：そらどま事務局（プロトハウス内）0120-2610-83  
[coa@protohouse.net](mailto:coa@protohouse.net)



# 家山のススメ

Uchiyama no susume

## チェルシーフラワーショー2011に参加してきました！



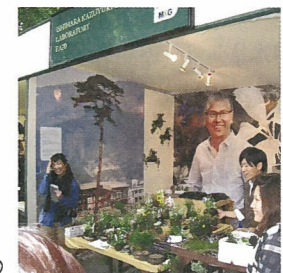
全国から参加した約40名のチャレンジングスタッフと共にイギリスで開催されたチェルシーフラワーショー2011に参加してきました。参加の主催者は世界的に注目を集めるガーデンデザイナーの石原和幸さんが代表を務める石原和幸研究所です。弊社はガーデンデザインにおいて石原さんと提携しており、今回の参加はそれが縁となったものです。まずはイギリスについての感想ですが、それは一言で言って「さすが庭づくりの本場！」というもの。名所旧跡をはじめ、至る所で、色とりどりの草花が咲き誇るガーデンに出会い、生活の一部に庭があるという、文化を感じることができました。日本チームの庭づくりにも参加。イギリスの人々が楽しそうに庭づくりをしているのとは対照的に、日本チームはややストイックな面持ちで作業に没頭！日本人は、まだまだ庭づくりを気軽に楽しむというところまでは達していないのか

もしれませんね。その意味で他のチームの庭づくりはエンターテインメント性にあふれていて感動してばかりいました。中にはスカイガーデンと言って空中に吊るした建造物の中にガーデンを設けているものもあったりして、これには驚きました！ここでは撮影してきたスナップ写真をできるだけご紹介します。典型的なイングリッシュガーデンから、今回の展示作品するなど、どうぞご堪能ください。このような世界的なフラワーショーの情報をお届けするのも、家山倶楽部を運営する私たちの仕事です。これからも機会がある度にご案内してまいりますので、お楽しみに！！来年のフラワーショーには、ぜひチャレンジングスタッフとしてご参加ください。



01

ただいまガーデン製作中。少しずつ形が見えてきます。私たちもお手伝い。



03

私たちのブースでは、コケ玉や盆栽も展示しました。



02

完成した私たちのガーデンデザイン。いかがでしょう。



完成したガーデンの前で。一生の宝物になりそうです。



04

フラワーショー当日の会場は大にぎわいでした。



▲▲▲ 家山の家ができました

# Uchiyama House Completion #03



建築家

## 瀬野和広 × 栄住産業

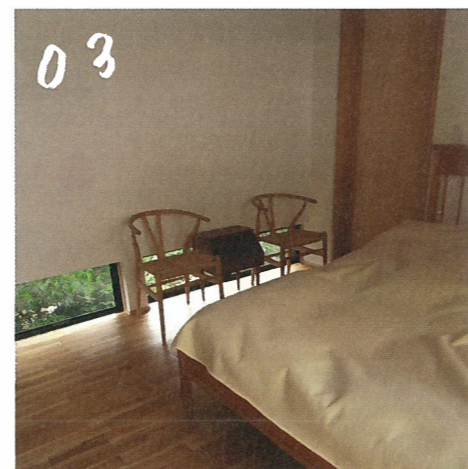
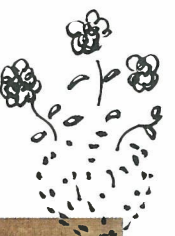
家を建てて山を造る。そんな『家山』の大きな可能性を感じさせます

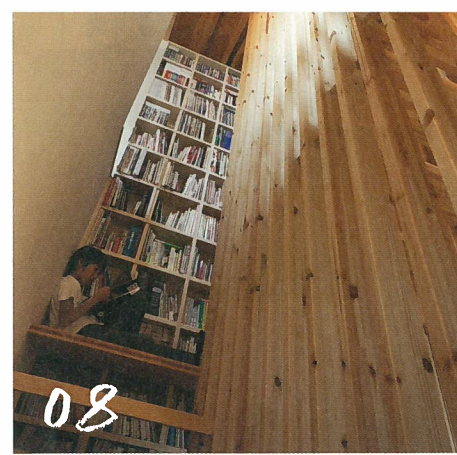
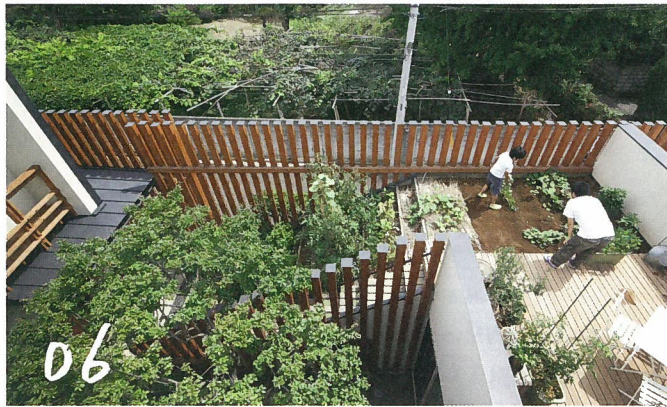
これからの家づくりの必須テーマは「省エネ」。エネルギー政策に関して言えば、原発か自然エネルギーかという議論も大切ですが、個人単位で推進できる活動を着実に進めていくことも必要だと思われます。家づくりについて言及するなら、それはまさに「省エネ」。住宅一戸当たりで発生するエネルギーをいかに抑えるかが問われていくのです。瀬野和広氏設計による「家畑」は、その「省エネに貢献する家づくり」を推進しながらも、本格的な畑づくりをも実現した好例です。どこが本格的か？その答えは「土厚40cm」という数値にあります。ここにも、栄住産業の屋上緑化システムが使われていました。

01. 木質空間のリビング&ダイニングから芝庭と段々畑を望む。構造用スラブから重厚感と木の優しさが伝わってきます。
02. 林立する縦格子が印象的な外観です。
03. 地窓から見える緑に心も安らぎます。
04. 玄関から段々畑を望む。なんだか不思議な感じです。
05. 収穫した野菜たちも元気いっぱい!
06. 屋上の畑で仕事を分担する父子。ここで学ぶことは多いです。
07. 夏野菜の時期、段々畑でステップに立ち水やりをするお子様。
08. 壁面書庫を設けた階段室。ここにも室内列柱が!
09. “山の凹み”に居るような落ち着きを感じられます。

東京都府中市  
U様邸

撮影(01~03、05左、06~09)：吉田誠





## 都市に田舎を創る



瀬野和広氏は山形出身の建築家です。それだけの理由で、その作風が環境共生をめざしているものとは断言できませんが、その家づくりの足跡を見る限り、常に田園生活や自然との結びつきへの希求というものが存在しているのは間違いないことでしょう。瀬野氏はその設計の拠り所を「農的生活」とよく表現しますが、この「家畑」においても、その方向性はいかなく発揮されています。それは、「都市に田舎を創る」という活動とほぼ同義語のようにも思えます。それだけの意図を、インパクトを持って伝えてくる造形が、完成した住宅から、静かに、そして強烈に発せられているのです。東側外観に林立する高さ4,570mmの縦格子。その規則的並列は、押し寄せる都市の砂漠化をそこで塞ぎ止める森の防波堤のようにも見えます。しかし、そこには意匠以上に構造的な思惑が存在しています。ヒノキで出来たこの縦格子は、なんと土厚40cmを実現する木質スラブを支える面剛性確保の要となっているのです。この縦格子の脇から母屋へ入ると、1階部分の玄関と2階へと繋がる段々畑があります。段々畑は、2階の畑からテラスへと至る外階段の役割を担います。畑とテラスの下階は居室とクローゼット、段々畑の下は外物置です。家畑を上を持つ居室の居住性の良さは言

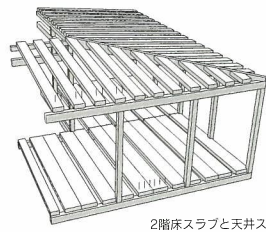
うまでもありません。真夏の炎天下でも土厚40cmの屋根が熱の侵入を防ぎ、その結果、省エネへと繋がっていくのです。

## 土厚40cmの家畑を在来木軸で！

このような“ある意味”思い切りのいいプロジェクトが実現できた背景には、それを理解した施主の存在があるはずですが。この家畑の場合は、瀬野氏と施主の家づくりが、なんと二度目という特別な関係。8年前にも建築家と施主の共同作業で「一本松だけ」とネーミングされた住宅が建てられました。そのネーミングの由来となった松の足元には家と道が広がり、大型プランターは夏野菜中心の菜園となっていました。瀬野氏は、その「一本松だけ」にあった農的生活の趣や営みを、この「家畑」に託そうとしたのです。そんな思いを、土厚40cmという“本格的な畑”で実現しようと決意した瀬野氏でしたが、そこには相当なハードルがあったようです。家と



畑とスラブと縦格子

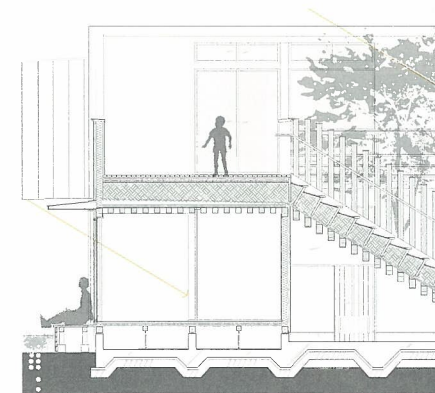


2階床スラブと天井スラブ

## 家畑から家山へ、ランドマークが変わっていく



都市のど真ん中でこのような本格的な畑を持った住宅が完成していくのを目の当たりにする時、これからの家づくりがますます自然回帰志向へと進んでいく様を想像せずにはおれません。この家畑と同様の“家の屋上やベランダなどが畑になっ



た家”が周囲に建ち並び、それが点在し、やがそれは山を形成するはず。想像して欲しいがそのまま家山へと変貌した姿を。それは、であり、家緑地帯の都市への侵出です。学校の場や施設をはじめ、カフェやレストラン、ホ設などは、その特性からしても家山に進化しています。実際に丸の内のオフィスビルでんでいます。小規模なレストランなどから家山化をスタートすることは可能です。そのこの家畑のような「木造で本格的な屋上緑化」と施工のスキルです。省エネから地球環境明るい未来づくりは、“待った無し”の状態は、このような社会貢献の一環でもある

## house data

- 家畑データ
  - ・所在地／東京都府中市
  - ・主要用途／専用住宅
  - ・家族構成／4人（母＋夫婦＋子供1人）

- 設計
  - ・設計／瀬野和広＋設計アトリエ（瀬野和広、芳賀宣則）
  - ・構造／稲山建築設計事務所（稲山正弘、岩田聖司）
  - ・造園、緑清／櫻井清一

- 施工
  - ・施工／内田産業

- 畑屋根
  - 赤土 t=400mm＋ペット樹脂製保湿マット t=6mm＋塩化ビニール結露防止防根シート t=4mm＋脂塗装溶解亜鉛メッキ剛板 t=0.65（スカイプロムナード/栄住産業）＋構造用合板 t=12mm 集成材105×150@227.5mm 木材保護含浸塗装（三井化学産資 ノンロット）